

年間授業計画

小山台 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （「家基705 家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版））

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらの技能を修得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなどして、生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費生活・環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらの技能を修得する。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の問題点を見い出して課題を設定し、解決策を模索して実践し、考察して解決する力を養う。	様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容				評価規準	知	思	態	配 時 数			
			A	B	C	D								
1 学 期	第2章 自分らしい生き方と家族 1. 「オトナ」になるってどういうこと？ 「18歳成年」の理解を深める。 2. 「家族」ってなに？ 多様化する「家族」の形と「世帯」の変化を知る。 3. 「ワーク・ライフ・バランス」を実現するためには 雇用形態と変化と「ワーク・ライフ・バランス」について学ぶ。	1. 自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握して、不足している点を考えさせる。 2. 「家族」とは何かについて考えさせ、多様化する「家族」についても理解する。 3. 「ワーク・ライフ・バランス」を実現するためにはどうしたらよいか考えさせる。	○				1. 自立度チェックをして現在の自分の現状を知り、「オトナ」なるためには何が必要かを考えてレポートにまとめることができたか。 2. 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができたか。 3. 男女共同参画社会など、現在の社会状況に興味を持ち、他者と話し合い、様々な価値観を知ろうとする態度があったか。	○	○	○	7			
	第3章 子どもとかわる 1. 子どもの発達 子どもの心身の発達と特徴について理解する。 2. 子どもの生活 子どもの基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の身につけ方を学ぶ。 3. 子どもを育てるのは誰？ 「ワンオペ育児」と認定こども園について学ぶ。	1. 保育人形、実物大掲示物、DVD教材を用い、子どもの発達のイメージをつかませる。 2. 視聴覚教材を用い、基本的な生活習慣を子どもに身につけさせるためにはどうしたらよいか、また子どもにとって遊びが重要であることを理解する。 3. 視聴覚教材を用い、ワンオペ育児にならないために、保育施設やサポート施設の利用も考えさせる。	○				1. 子どもの心身の発達の順番や「愛着」行動や「第一反抗期」についての知識が身についたか。 2. 子どもの発達別の接し方や子どもに対して一人の人間として接することの重要性を理解できたか。 3. 共働き夫婦の「ワーク・ライフ・バランス」の課題や「ワンオペ」育児の解消に向けて、自分なりの考えをもつことができたか。	○	○	○	10			
	第7章 衣服の構造・デザイン 1. 衣服の構造・デザイン 衣服製作を通して縫製技術を身につける。	1. エプロン製作 半縫製済エプロンキットで手縫いの基礎縫い技術を身につける。 〔ボタン付け、こしひもつけ(本返し縫い)、すそ縫い(まつりぬい)〕	○				1. 材料の選択や基礎縫い・アイロンかけなど、一人暮らしに必要な被服技術が修得できたか。 また、実習に積極的に取り組み、作品の出来栄が良かったか。	○		○	9			
夏 季 休 業 中	ホームプロジェクト ・生活の中でよりよく暮らすための課題を見つけ、解決方法を考えて実践してレポートとして提出する。	生活を見直し、解決方法を考え、実践して考察する。実践記録はレポート用紙にまとめ、資料をTeamsで提出する。				○				自分の家庭や地域の生活を見直して課題を見つけ、その解決方法を考えて実践し、その結果や考察したことを実践記録にうまくまとめられているか。	○	○	○	6
2 学 期	第7章 衣服の構造・デザイン 1. 衣服の構造・デザイン ポケット布に「刺し子」か「刺しゅう」をして、本体にポケットをミシンで縫い、仕上げをする。	1. エプロン製作(続き) ポケットに刺し子か刺しゅうのアレンジをする。ミシンを使用してポケットを縫いつけ、仕上げをする。	○				1. 刺し子や刺しゅうにより自己表現ができ、ミシンの基本的な使い方や糸の始末など、被服技術が修得できたか。 実習に積極的に取り組み、作品の出来栄が良かったか。	○	○	○	8			
	第6章 食生活をつくる 1. 食生活チェックをしてみよう！ 現在の食生活をチェックして生活習慣病やBMIと体脂肪との関連について学ぶ。 2. 栄養と食品の関わり 5大栄養素と多く含む食品について学ぶ。 3. 献立作成と調理 自分の献立や家族の献立作成を学び、調理実習を行い、実践する。 4. これからの食生活について 食料自給率や食品ロス、フードマイレージなどの問題について学ぶ。	1. 高校生はやせが多いが40代以降肥満が多くなる要因について学ぶ。 2. 5大栄養素の働きについて知識を深めるとともに、自分で食品を選択できるようにする。 3. 献立作りを通して、摂りたい栄養素を食品の選択や調理方法で調節できる力を養う。 また、調理の基本を学び、衛生的で安全な調理実習ができるようにする。 4. 映像を見せながら、食品ロスなどの環境問題が自分とつながっていることを理解させる。	○	○			1. 自分の食生活が健康と密接に関係しており、今後改善すべきことを理解できたか。また、自らのBMIの計算式を理解できたか。 2. 5大栄養素はつながっているため、色々な食品をバランス良く食べることの重要性が理解できたか。 3. 家族のために献立をたてる際に注意すべき点を理解できたか。調理の基本を学び、班員と一緒に協力しながら実践できたか。 4. 日本の食料事情の実態を理解して、その解決策を考え、自分なりに問題解決に向けて行動しようとしているか。	○	○	○	20			
	定期考査									○	○		1	

